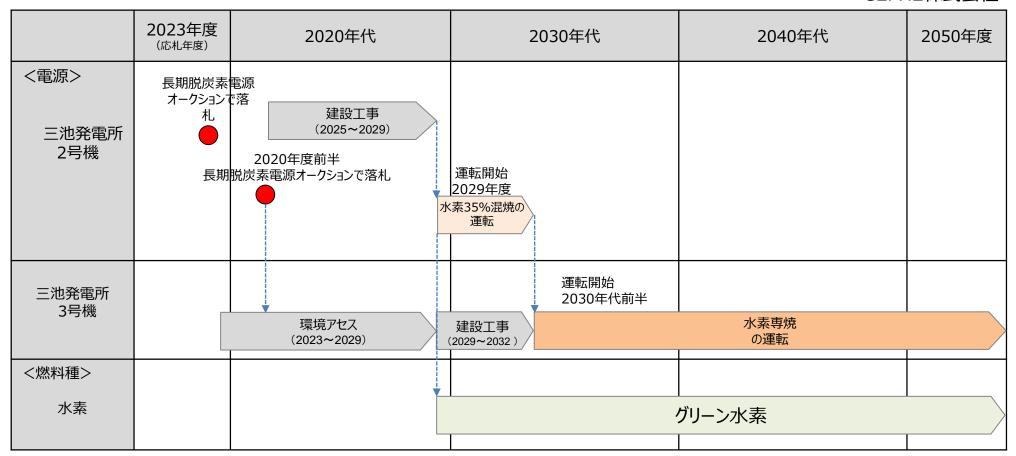
三池発電所 2・3号機の脱炭素化ロードマップ

2024年11月 CEFH2株式会社



<前提条件>

- ✓ 既存の技術で現在の石炭火力発電所を水素混焼設備に改修し、35%混焼プラントを稼働させたのち、水素専焼プラントを建設し、 目標の100%水素火力発電所を実現する。
- ✓ 長期脱炭素電源オークションでの落札やサプライチェーン制度及び拠点整備制度等の適用を通じた適切な投資回収の確保。
- ✓ 既に実用化されている混焼技術と水素精製技術の導入による早期の水素火力発電所の実現を目指す。
- ✓ 再生可能エネルギーを活用したグリーン水素を製造し、その水素を利用した発電設備を稼働させ、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略に貢献する。
- ✓ 上記の方法でグリーン水素の調達ができない場合、FIT非化石証書または非FIT非化石証書(再エネ指定)を購入し、水素を製造する。

三池発電所 2・3号機の脱炭素化ロードマップ

2023年11月 CEFH2株式会社

| | 2023年度 (応札年度) | 2020年代 | 2030年代 | 2040年代 | 2050年度 |
|----------------------|-----------------------|---|--|-------------|--------|
| <電源> 三池発電所 2号機 | 長期脱炭素 オークショ で落札 | 改修工事 (2025~2029) 2020年度前半 長期脱炭素電源オークションで落札 | 運転開始 2029年度 水素35% | | |
| 三池発電所 3号機 | | 環境アセス | 正焼の運転 運転開始 2030年代前半 建設工事 029~2032) | 水素専焼 の運転 | |
| <燃料種> 水素 | | | | グリーン水素 | |

<前提条件>

- ∨既存の技術で現在の石炭火力発電所を水素混焼設備に改修し、35%混焼プラントを稼働させたのち、水素専焼プラントを建設し、 目標の100%水素火力発電所を実現する。
- ✓長期脱炭素電源オークションでの落札やサプライチェーン制度及び拠点整備制度等の適用を通じた適切な投資回収の確保。
- ∨既に実用化されている混焼技術と水素精製技術の導入による早期の水素火力発電所の実現を目指す。
- ✓ 再生可能エネルギーを活用したグリーン水素を製造し、その水素を利用した発電設備を稼働させ、2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略に貢献する。